

七ヶ浜町まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

令和6年度 中間評価

都道府県名	宮城県	事業実施主体		七ヶ浜町					
計画期間	令和4年度～8年度	地域再生計画名		七ヶ浜町まち・ひと・しごと創生推進計画					
①地域再生計画 に記載した数値 目標の実現状況	基本目標	指標(数値目標)	基準値	中間実績	最終目標値	達成度	中間 評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			令和2年度	令和6年度	令和8年度	割合			
	基本目標Ⅰ 「日帰りリゾート」のポテンシャルを活かし、なりわいを創出する	指標 1 公的機関の支援制度活用により町内で起業・創業した件数	0件	2件 (累計3件)	3 件	100%	○	令和6年度は町内で起業・創業した件数は2件で、累計3件となり目標を達成した。	
	基本目標Ⅱ 関係人口を拡げ、移住定住を促進する	指標 2 本町への転入者数	544人	520人	600人	86.7%	×	令和6年度は目標値を80人下回る結果となった。令和5年度からは2人増加しているも、目標達成は難しい状況である。	
	基本目標Ⅲ 人材育成を充実させ、子育ての希望につなげる	指標 3 本町で子育てをしていきたいと回答する保護者の割合	93.00%	92.60%	95.00%	97.5%	×	令和6年度は目標値を2.40％下回り、基準年である令和2年度の93.00％も下回る結果となった。保健師の全戸訪問等の活動により、住民に寄り添いきめ細やかな支援を継続し、目標達成を目指していく。	
	基本目標Ⅳ 顔が見えるコンパクトな関係を築き、地域の安全・安心を確保する	指標 4 地区の防災訓練参加人数	2,170人	2,575人	2,550人	100.9%	○	令和6年度は目標値を25人上回り、目標を達成した。新型コロナウイルス感染症5類移行後2年目ということもあり参加者が増加した。	
②評価方法	外部評価メンバーによる最終目標値における中間評価・検討等を行った。								
③中間評価の公表方法	七ヶ浜町のホームページに掲載								
④総合評価と今後の方針等	地域再生計画の4つの基本目標は、令和6年度時点で目標Ⅰ及びⅣについては達成し、目標Ⅱ及びⅢについては達していない。 4つの目標の共通点は、町の魅力づくりとそれをどのように発信していくのかという点である。既存概念に囚われず、あらゆる視点から物事を取り込むことで、様々な分野で相乗効果を生み、町全体の魅力アップに繋がっていくものである。 以下は、評価に係る有識者会議においての意見である。 基本目標Ⅰ 情報発信の方法に工夫が必要。せっかくいい情報を発信しても見てもらえないのでは意味がない。ふるさと納税してくれた人など七ヶ浜町に興味がある人へ産業誘導や支援のPRを行い、見てもらう工夫・努力が必要となってくる。トリガイについてはブランド化や地元への還元を期待している。 基本目標Ⅱ 移住定住については、七ヶ浜に興味がある方たちにターゲットとなる層を絞りこみ、情報発信を工夫していくとよい。逍遙のまちづくりについては、QRコード付の看板などを設置し、町の紹介動画が見れたり、バーチャルで震災前後が確認できるような魅力を組み込めると良い。消費カロリーを見て確認できるように見える健康として整備することで、散歩コースで七ヶ浜町に来る人も増加すると思う。 基本目標Ⅲ 不妊治療助成事業の効果が出ていて良い。学校教育では学校や学校教育支援センターに来られない児童・生徒もおり、地域や家庭で総合的な支援が必要。また、そういった現状は育児教育も影響している。自己肯定感を育み本人がやりたいこと・伸ばしたい能力を褒めながら伸ばしてあげるような育て方が必要。言葉のイメージはとても強いため、子どもたちにとってネガティブなレッテルを貼るような言葉は、大人は使わないようにしないといけない。七ヶ浜の英語コミュニケーション力の取り組みや30年も続くプリマス町との姉妹都市交流は、非常に魅力的である。大々的に宣伝してもいいと思う。子育て世代へアピールすることで、移住にもつながる。 基本目標Ⅳ この目標はよく進んでいる印象。地域福祉推進事業については、非常によく取り組まれていて住民の方の意識の啓発にとっても役に立っていると思う。地区の防災訓練については例年参加者が増えないという課題があるが、意識高く取り組み進んでいる地区もあるため、参考として他地区に紹介するのも良いと思う。 以上の意見を踏まえ、町の今後の方針としては、町の魅力を積極的にPRできるよう情報発信の方法を工夫していき、目標達成に向けた取り組みを継続して進めていく。								